

校務支援システムがもたらす効果



校務支援システムの効果

正確性の
確保

子どもと向き合う
時間の確保

情報の一元化・
共有

子どもを
見守る基盤となる

教育活動の質の改善

正確性の確保

成績処理や評価を入力する際は、チェック機能により、入力情報の確認がしやすくなります。転記ミスも軽減され、正確性が向上します。

子どもと向き合う時間の確保

校務システム導入校では、時間的にゆとりができ教員が子どもと向き合う時間が1日30分以上増加したという報告もあります。

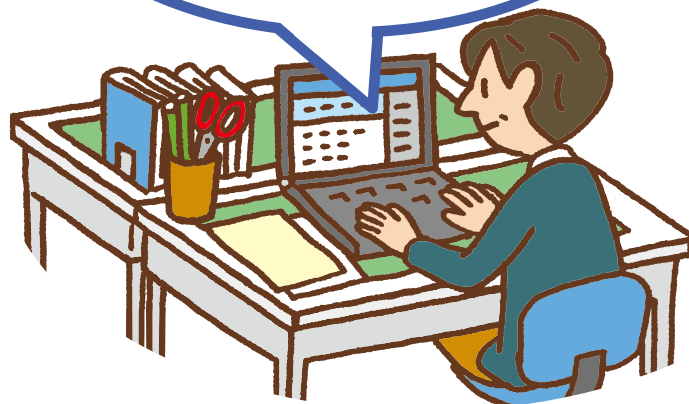
情報の一元化・共有

さまざまな資料作成で、入力項目や作業手順の統一が図れます。全教員で情報の一元化や共有が行え、効率よく校務が進みます。

子どもを見守る基盤となる

日頃の気づきを校務支援システム上に記録することで、教員全体で一人ひとりの子どもを見守り、成長させる風土ができます。

出欠席簿
成績処理
指導要録
名簿管理



校務情報化による負担軽減と時間の活用

校務情報化が成功した学校では、

※熊本県教育庁「指導要録の電子化について」より

教員が子どもと
向き合う時間が

1日30分以上増えた

校務情報化によって、負担が
減少したと感じる日常の業務

48.3%
出席簿作成

11.1% 会議

7.8% 日誌、
予定表作成

負担が減少した分の時間の活用方法

35.7%
業務時間を減らす

13.8%
子どもへの対応

28.3%
授業評価

※群馬県教育委員会 平成21年度「校務の情報化に関するアンケート」調査結果より